

## 卷頭言



## 自動車分野特集号の発刊にあたって

佐藤 浩一\*

このたび、6年ぶりとなる自動車分野の特集号を発刊できることを大変嬉しく思います。日本の自動車産業は、周辺産業と密接に連携しながら発展を続け、グローバル市場において高い競争力を保ちつつ、日本経済の成長をけん引してきました。そして鉄鋼業も、自動車産業の変化に呼応するかたちで常に進化してきました。

自動車用鋼板の技術進化を振り返ると、高度経済成長期には、大量生産のニーズに対応するため、連続化を含む一貫製鉄技術の発展により、量と質を両立した素材の開発・供給が実現されました。2000年代は衝突安全基準の厳格化、燃費規制に対する取り組みが加速し、当社はハイテンを中心とする素材を開発してまいりました。現在もそのトレンドは続いています。一方で、カーボンニュートラル実現に向けた対応や電動化に対する提案も求められております。さらには、人口減少・労働力不足といった新たな課題にも直面しており、さらなるものづくりの進化が求められている状況と認識しています。

今回の特集号は、そういった自動車産業における課題をお客様との協業によって解決する技術を中心に構成されております。

ご存じの通り、鉄はクローズドループリサイクルが可能で、ライフサイクル全体でのCO<sub>2</sub>排出削減にも優れており、サーキュラー・エコノミーに不可欠な素材です。私たちのエコ商品“NSCarbolex® Neutral”は、低CO<sub>2</sub>排出を実現する新しい鋼材で環境負荷を大幅に削減し、サステナブルな社会づくりに貢献しています。また、自動車のお客様に対して、単なる素材の提供に留まらず、最適な素材とソリューションを包括的に提案する“NSCarbolex® Solution”の一つである、次世代自動車コンセプト“NSafe®-AutoConcept ECO<sup>3</sup>”等、最新の研究開発事例をご紹介します。

日本のものづくりの強さの源泉は、部門の垣根を超えた連携によって、素材・構造・工法・評価を一体として摺り合わせる技術力にあります。大きな変化の真ただ中にある自動車産業と共に、次世代のモビリティのグランドデザインを素材を通して描くべく、さらなる進化と価値創造を続けてまいります。本特集号にて我々の強い思いを感じて頂ければ幸甚です。

---

\* 鉄鋼研究所 鋼材ソリューション研究第一部長 Ph.D.